

17年連続でレンズ交換式デジタルカメラの世界シェア No.1 を達成

キヤノンは、レンズ交換式デジタルカメラ（デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラ）の世界市場において、2003年から2019年まで17年連続で台数シェア No.1^{*1} を達成しました。

■ 2019年に発売した主なレンズ交換式デジタルカメラ



ミラーレスカメラ
「EOS RP」



デジタル一眼レフカメラ
「EOS 90D」



ミラーレスカメラ
「EOS M6 Mark II」

キヤノンのレンズ交換式カメラ EOS シリーズは、「快速・快適・高画質」を基本コンセプトとして、キーデバイスである CMOS センサー、映像エンジン、および交換レンズを独自に開発してきたイメージングシステムです。プロから高い信頼を得ている高性能なフラッグシップモデルから、簡単な操作で高画質な撮影を楽しむことができるエントリーモデルまで幅広い製品ラインアップをそろえることで、お客さまの多様なニーズに応え続けています。

2003年9月、黎明期（れいめいき）におけるデジタル一眼レフカメラとして、画期的な小型・軽量と低価格を実現したエントリーモデル「EOS Kiss Digital」を発売することで、市場拡大のきっかけを作り、世界シェア No.1 を獲得しました。その後もプロ向け EOS-1D シリーズや、一眼レフカメラによる動画撮影を普及させた EOS 5D シリーズなどの時代を切り開く製品を提案してきました。2018年10月には、撮影領域のさらなる拡大と新しい映像表現の可能性を追求した「EOS R システム」のフルサイズミラーレスカメラ「EOS R」、および光学技術を最大限に生かした RF レンズを加え、「EOS システム」を拡充してきました。

2019年もフルサイズミラーレスカメラ「EOS RP」（2019年3月発売）やデジタル一眼レフカメラ「EOS 90D」（2019年9月発売）をはじめとする魅力的な製品^{*2}を発売し、ラインアップのさらなる充実を図ることで、2003年から17年連続で世界シェア No.1 を達成しました。

また、新開発のフルサイズ CMOS センサーを搭載し、さらなる高速連写や 8K 動画撮影を可能としたミラーレスカメラ「EOS R5」を開発中です。さらに、「RF100-500mm F4.5-7.1 L IS USM」を含む9機種の RF レンズを現在開発しており、2020年中の発売を目指します。

キヤノンは、これからも光学技術を中心に映像技術に磨きをかけ、一眼レフからミラーレスカメラまで幅広い製品をそろえ、新たな映像領域を切り拓き、写真・映像文化のさらなる発展に貢献していきます。

※1 キヤノン調べ。

※2 2019年に発売したレンズ交換式カメラは、「EOS RP」（2019年3月発売）、「EOS Kiss X10」（2019年4月発売）、「EOS 90D」（2019年9月発売）、「EOS M6 Mark II」（2019年9月発売）、「EOS M200」（2019年10月発売）、「EOS Ra」（2019年12月発売）の6機種。